

子どもたちの学びを止めない! ICT の力

新型コロナウイルスが私たちの暮らしに暗い陰を落としはじめてそろそろ1年、以前のような賑やかな町が戻ってくるにはまだ時間がかかりそうだ。そんな中、毎日元気に登校する子どもたちの姿に励まされている。昨年の後半から県立高校の先生を対象にリモート授業を行うためのICTサポートを担当している。「ICT」とはInformation and Communication Technology の略で、情報通信技術を活用してコミュニケーションをとる事をいう。ICTは三密回避のコロナ禍において必要不可欠、また子どもたちの可能性を大きく広げてくれる道具でもある。

いざ学校現場に入ってみると、リモート授業の実施に向けて早急な対応を迫られている先生たちの苦勞が手にとるようにわかる。PCやネット回線というハードが揃っただけではICTは成立しないからだ。これから必要とされるのはハードを使いこなすソフトの力、私の役割もそこにあるように感じている。どんな困難な時も子どもたちの学びを止めないという先生たちの熱い思いを感じながら、サポートに邁進する日々がもうしばらく続きそうだ。

NJC 中野

～ 会長より一言 ～

皆様、こんにちは。コロナ禍で我慢を強いられているので、欲求不満になりますね。しかし、命を懸けて働いてくださっている方々、生活を支える仕事を休んで自粛に協力して下さる方々等全ての皆さんのお陰で今が保たれています。今こそ、子や孫の未来のために、「人間もたいした者だ。」と言われる力を示したいものです。

大西多美子



参加行事アルバム

9/6 資源ゴミ収集活動
いつもご苦勞様です



11/18 ネットワーク松前ファイワイ座談会
テーマ：ウィズコロナの暮らしぶり



3/25 西高柳サロンの集い
お花見で心身ともにリフレッシュ



6/13 シトラスリボン活動
『女性と防災』の仲間で参加



12/25 防災士活動
防災マップ更新

防災委員さんの協力を得て、地域の危険箇所のチェックを行い、マップが完成しました!



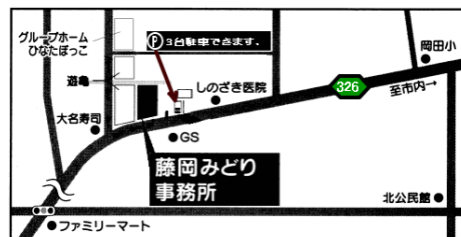
編集後記

一向に収まりを見せない新型コロナウイルス。仕事、学校、イベントなど、私たちの日常生活に大きな影響が出ています。行動が制限され、感染への不安を感じる中、家族や身近な人たちの健康を守るために、いま私たちに何ができるのか。健康的な生活を送るために自宅でできる運動などがけたいものです。一日も早いウィルスの終息を願って……。(K.I)

メールアドレス

fujioka.midori@gmail.com

☆ブログ・フェイスブックでも活動内容の一部を公開しています。



(月・水・金) AM9:00～PM5:00
(火・木) AM9:00～正午まで

藤岡みどりの
ワクワク
レポート



第24号

2021.3.1発行



『コロナ禍での生活も1年以上、今後は・・・』

★阪神大震災から、ちょうど25年目に新型コロナウイルスの国内感染者が初めて出て、去年、このレポートを発行した頃に緊急事態宣言が全国一律に出されました。

その時、未知のウイルスとの戦いに国民一丸となって3密を避け、マスク・手洗い・消毒の励行、ソーシャルディスタンスを保ち可能な限り自粛生活を頑張りました。

その甲斐あってか感染者数は激減し、秋風の吹くころ、その間の疲弊した経済に活力を与えるため国を挙げてのGOTOキャンペーンが始まりました。私たち国民も長い自粛生活から少し解放されて会食や旅行、買い物と活発に動き始めると、どうでしょう。

★11月後半あたりから冬の寒さの到来とともに感染者数も右肩上がりに増え、恐れていた

医療崩壊というシナリオ通りの数字が示され、ついに1都3県をはじめとする人口集中型地域の11府県に2回目の宣言が出されました。

★愛媛県では去年の3月5日に初めての感染者が出て、第一波のころは感染者数も累計で2桁止まりでしたが、2月には1000人を超えました。(日本での全感染者数40万人以上、世界全体で1億人超え、死者数231万人、2月7日現在)

★全世界的な速やかなクチンの接種と画期的な治療薬の発明が待たれます。

★今後人類がこのような感染症との戦いにむきあっていけば、4年に1度の開催のオリンピックの在り方そのものも、議論されるべき課題ではないでしょうか。

◎シトラスリボン運動で、コロナ禍でも心の触れ合いを大切に

当たり前と思っていた普段の暮らしを揺さぶっているCOVID19(新型コロナウイルス)たとえウイルスに感染しても、差別や偏見のない誰もが地域で笑顔の暮らしを取り戻せる社会にしていきたい。愛媛特産の柑橘にちなんでシトラス色のリボンや専用のロゴを身に付けて「ただいま」「おかえり」と心から言い合える、そんな気持ちを表す活動に私も参加させて頂いています。

愛媛発信のこの活動もおかげさまで今では全国に広がり、このリボンやマークを目にする機会も多くなってきていますが、まだまだ感染者やその家族、医療従事者、介護施設関係者などへの差別や偏見の事例が後を絶ちません。

何よりこのウイルスの撲滅、感染拡大が終息するまで、みんなでこの活動を広げ心豊かな地域社会を守っていききたいと思います。



～みどりの一般質問より～



6月 コロナ禍の中、町の具体的対策を問う

Q. 防災、避難全般の考え方は？

A. 感染リスクの軽減措置として避難所の収容人数の削減により避難所内の3密を回避する考えを持つようにする。

これからの避難は、自宅の2階、親せきや友人宅、ホテル等宿泊施設への避難など「分散避難」を実行してもらいたい。やむを得ず指定避難所に来られた方のためには、限られた避難スペースを確保し、感染症に対応した運営を行う。これには町独自のガイドラインもできている。

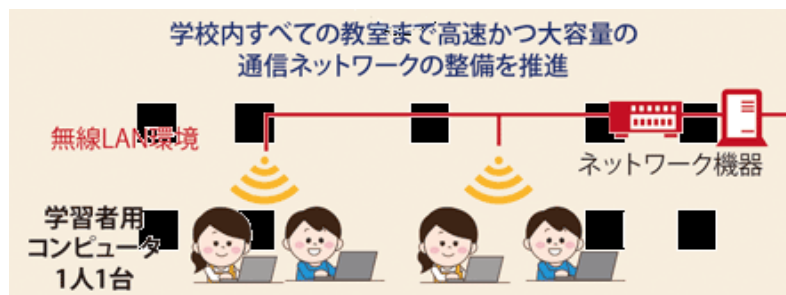


(〇) 早急に各自防災会に配布し、町民への周知を急いでほしい。

Q. 学校教育現場での対策は？

A. 各学校現場ではマスク着用、手指消毒、換気、空気清浄飛沫防止対策、座席間距離の保持、給食指導のマニュアル化、休校中の学習の遅れの取り戻し、運動会や文化祭、修学旅行の見直しや延期分の再検討など随時行っている。現段階でのオンライン授業は難しい。

(>0<) 皮肉にもコロナ禍でオンライン授業などICT教育の充実が急がれたため、国の補助金が大幅前倒しとなり、来年度から小中学校全域でGIGAスクールシステムが導入されることとなった。



〈GIGAスクール構想のしくみ〉

9月

Q. 住宅地の確保に向けた方策は？

A. 町の今後の発展を考える上で、第5次総合計画の土地利用の推進と住居系市街地の整備の調整が欠かせない。人口減少の中、県当局の理解を得るため「地区計画」を策定しまちづくりを進めていく。今後、町民代表者による検討委員会を立ち上げ、土地利用方針案の作成に繋げていく。



Q. 災害弱者の逃げ遅れ防止対策は？

A. 災害時に自力避難が困難な高齢者や障がい者の逃げ遅れ防止対策として、一人一人の個別計画を作成することを国は各自治体に要請している。

町内では、避難行動要支援者の中で名簿化の同意を得た人が3052人、そのうち個別計画のできている人が45名しかいない。今後はさらに積極的に作成率向上のため必要性を周知してもらうよう努めたい。
(>0<)かなりハードルの高い目標だが、周知にスピードも要求される。



12月 コロナ禍で不調を抱える女性の問題から

Q. 妊娠後期の感染、重症化の予防策は？

A. 令和2年4月に開設された妊娠期から子育て期までのワンストップ相談窓口である松前町子育て世代包括支援センターにて、専門の保健師さんなどから適切なアドバイスを受けることができる。特に新型コロナウイルス感染症対策用チラシを使って、妊娠届け出時と8ヶ月相談時により丁寧な説明を行い、妊婦の不安解消に努めている。



Q. 産後うつの問題は？

A. これまでも妊娠届時の面談にて産後うつのリスクが高いと判断された場合、電話相談や家庭訪問をして予防に努めていた。産後2ヶ月ごろに行う「こんにちは赤ちゃん訪問」で、産後の母親の状態を把握し個別支援を行う。さらにコロナ対策として新たに産後約1ヶ月までの母親対象に保健師が電話により聞き取り相談を始めている。

令和3年度からは医療機関との連携による県内初の無料ショートステイやデイサービス、居宅訪問の支援を行う産後ケア事業も予定している。

★コロナ禍でどう進めていく住民活動

☆コロナ禍でもできる活動を着々と頑張っているグループの紹介

◎3密を避け、できる感染症対策をしながら当初の計画通りには実施できなくても活動の火は消さずに努力されている事に、私も事前会議参加や資料作成等で協力させていただきました。



【まさき—いいとこ見つけ隊】

コロナ蔓延の状態が下火になった時点での活動再開

- ・子ども夢会議 in 北伊予 (昨年 10/31)
北伊予地区(一部岡田校区)の15人の子どもたちを対象に、農家の暮らしや知恵の紹介、はだか麦を使ったパエリアと豆乳スープの調理体験など
- ・サイクリングロード促進事業イベント実施 (昨年 11/22)
ママチャリでも構わない、ゆっくり松前の町を回って楽しもうという企画

【松前町観光ガイドボランティアグループ「はんざり」】

コロナ感染防止に特に留意しながらの研修

- ・町内東方面観光ガイド体験学習 (昨年 10/17)
19名の参加で、(ジャンボタクシー2台、中型1台、自家用車3台) 福德泉公園、たまごや、大地泉公園、ひよこたん池公園を順に回り、各所で会員によるガイド研修を行った。



雨にも負けず・・・
聞いている私たちにも
伝わるガイドの熱さ！

- ・町内西方面観光ガイド体験学習(徒歩コース) (昨年 12/17)
松前庁舎内の出作遺跡出土品展示コーナー、武智雅一の立像、子規句碑や瀧姫神社、住吉神社、草田男句碑・夫婦橋、最後に義農公園と計7か所に立ち寄りガイド研修
- ◎私も実際に参加して、個性や工夫溢れるガイド(案内)を聞くことができました。毎回ガイドレベルが上がっていて、皆さんの学習意欲に敬意を表します。



皆さん
真剣です！

